

日本の歯科矯正臨床の展望 ～ 矯正専門医の将来像を語る ～

和島 武毅 先生

日本矯正歯科協会 (JIO) は、矯正専門開業医が中心となり 2002 年の会合を原点とし、2009 年から一般社団法人日本矯正歯科協会として我が国の矯正治療の質の向上に努め、良質の医療を社会に還元するという理念のもとに活動しています。

歯科矯正臨床は専門性が高い医療にも関わらず、我が国では専門性の確立がなされていません。技術認定が蔑ろにされた認定医・専門医制度は矯正受診者に対して混乱を招いています。巷には医療の域を超え倫理が問われるような商業化した歯科矯正環境が横行しているのが現状です。そこで、日本矯正歯科協会では、国民の方々に矯正治療を安心して受診できるようなシステム作りを目指し事業を行ってきました。2004 年には安心して矯正治療を委ねられる矯正臨床医の審査・認定を行うために日本歯科矯正専門医認定機構 (JBO) を設立し、2005 年には矯正臨床に関する人材を育成し、矯正歯科学の発展と国民の健康福祉の向上に寄与することを目的として日本顔面口腔矯正学会歯科教育機構 (JAO) を設立しました。

このような歯科矯正環境の中、矯正歯科領域の専門医制度の申請をしている三団体（日本矯正歯科協会、日本矯正歯科学会、日本成人矯正歯科学会）で厚生労働省指導のもと 2007 年 7 月 19 日より第 1 回「歯科矯正領域の専門医制度に関わる三者懇談会」が開催され、同省立ち会いで協議が開始されました。しかしながら、矯正歯科領域において新たな統一された基準による専門医の審査・認定を行なう目的で、三団体とは別に新たな第三者認定機構を設立するという結論が出されたにも関わらず、4 年を経過して未だに統一した審査への行程すら具現化していません。

今回、日本矯正歯科協会（深町博臣会長）は 10 年という節目の年を迎え、矯正臨床環境の実態の把握および矯正臨床医のあり方を検討するために矯正歯科従事者に対して意識調査を行いました。それら幅広いご意見をもとに去年発足した日本歯科矯正専門医会 (JSO) 会長三瀬駿二先生からは矯正専門医会のビジョンをお伺いし、美容家吉川千明氏、医療ジャーナリスト増田美加氏からは一般市民、国民の立場・目線から矯正専門医に対してのご要望・ご意見を頂き、参加された皆様と共に歯科矯正臨床を展望し日本歯科矯正専門医の将来像を議論することで、今後の具体的な日本矯正歯科協会の方向性について有意義なシンポジウムとなれば幸いです。

和島 武毅 先生

愛媛県新居浜市開業 歯ならび矯正歯科医院